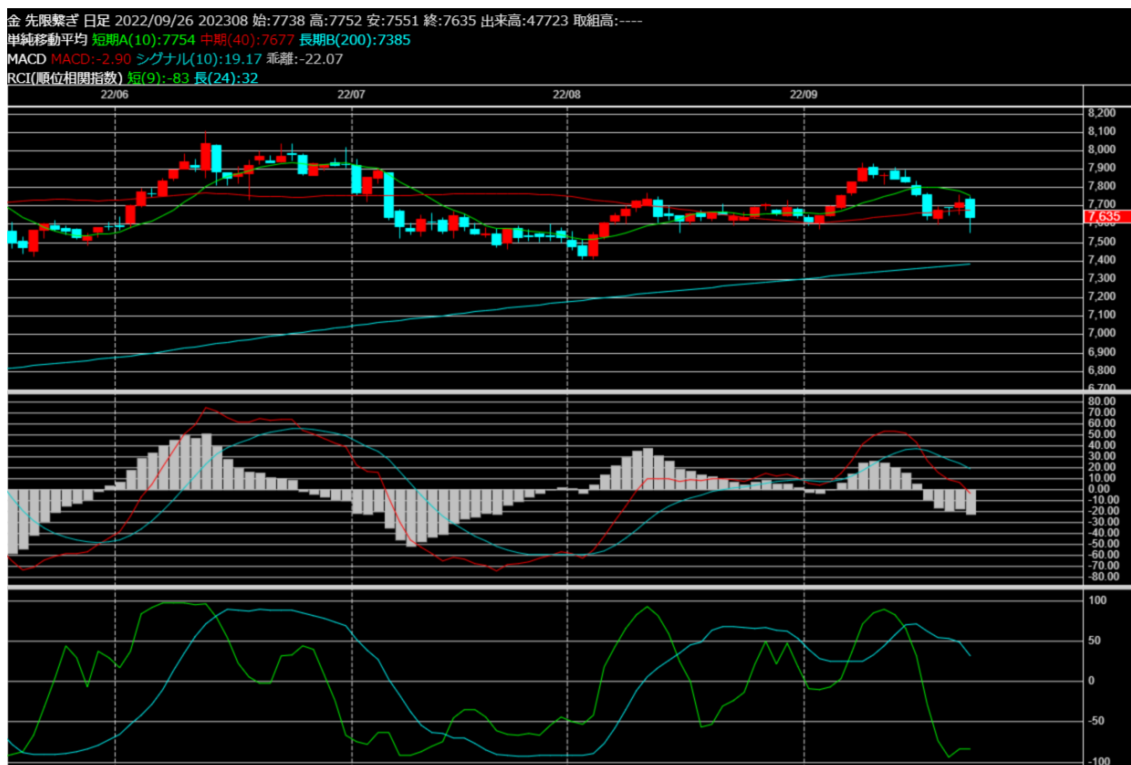


<金標準先物、リスク逃避のドル回帰で 7400 円へ・・・>



(出所：オアシス)

スイス中銀は政策金利の 0.75%引き上げを発表し、8 年ぶりにマイナス金利からの脱却を示している。しかし市場は更なる利上げ幅 1%を期待していた感があり、発表後は失望からフランはドルに対して売られている。特にイングランド銀行にインドネシア、フィリピン、ベトナム、台湾とアジアの国々でも利上げを発表するなど、世界的な金利引き上げの動きを見せている。特に週末には英国政府が 5 年間で 1610 億ポンド（約 25 兆 5000 億円）に上る経済対策を発表し、また合わせて 1972 年以來の大型減税を発表するなど、大規模な政府債務が管理不能な状態に陥るとの不安を高めている。

そのため世界的に債券が売られて米国 2 年債の金利は 2007 年以來の 4.246%まで上昇するなど軒並み金利は上昇し、21 日までの 1 週間で市場はリスク逃避から現金保有を増しておりドル紙幣へ回帰する動きを強め、株式ファンドから 78 億ドル、債券ファンドから 69 億ドル、金からも 4 億ドルの資金流失を示す中で、ドル現金の保有は 303 億ドル増加している。そのため金利を生まない金標準先物は、日銀の 24 年ぶりの円買い介入もあり円安が期待できないだけに、29 日の第 2 四半期 GDP・確定値まで下値追いを示す可能性は高く 7400 円へ向けた下値追いに注意したい。

<テクニカル>

金標準先物の日足を MACD では **MACD** と **シグナル** が下向きで下げており、RCI においても **短期** が -80%以下で維持しながら **長期** が下げだすなど、オシレーターは弱気を示唆しており、**200 日移動平均線** が位置する 7400 円に向けた下値追いの値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,594,000 円(2022 年 9 月 26 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 9 月 26 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>